



## IRCA/470 ブリーフィングノート:

### コーポレートマネジメントシステム審査員(CMSA)登録に関する CPD プログラム

#### 適用範囲:

本文書は;

1. CMSA 登録の達成及び維持に寄与し得る広義のトレーニング及び啓発活動の概要を述べる。
2. これらの活動が、コーポレートレベル審査員としての業務にいかに関与するかを述べる。
3. 適切な CPD の達成、及び、要求されている力量を向上させる上で、その有効性を検証する証拠の種類を、CPD プランと併せて説明する。

#### 1.0 序文

CMSA 審査員レベルは、格別に高いレベルの審査員力量を実証することができる審査員のための、プレミアム登録レベルです。このレベルは主に、大規模で非常に複雑な組織の審査を日常的に実施・管理する審査員に適用されます。こういった組織に対し審査員は、コーポレートマネジメントをサポートしてビジネス上の目標を満たし、改善のための重要な機会を明確にすることによって、付加価値を与えます。

力量ベースのスキームとして CMSA 登録は、あらゆる分野・業種の審査員に適用できます。また本プログラムは、合意されたこのレベルに関する要員認証規格のもと、ISO 17024 に適合しています。

本ブリーフィングノートで扱っている CPD プログラムは、CMSA 登録を希望する審査員、登録の維持を希望する審査員の両者に適用されます。この CPD プログラムは、登録に対して申し分なく実証されるべき 8 つの力量に基づいています(プログラムの中には、重複する力量があるかもしれません)。ただし、コーポレート審査員プログラムには前提条件となる要求事項はありませんので、本ブリーフィングノートにてトレーニングコースの修了のための要求事項を明確にしています。

#### 2.0 力量 - ビジネスの理解

関連する業種について基本的な知識を有していることに加え、CMSA 審査員は、関連する製品・サービス・プロセスのマネジメント・オペレーションはもとより、組織の精神、ビジネス戦略並びに目標、関係者の利害、関連する法令・規制の枠組み、並びに市場の状況をよく理解していることが要求されます。コーポレートレベルのトップマネジメント要員はたいていの場合において、関連する分野における非常に優れた技能及び経験を有していることを実証することによって、その地位を得ています。CMSA 審査員は、コーポレートマネジメントの信頼を得、効果的な審査の成果を促進するため、ビジネス環境の十分な理解を得るための適切なステップを経てきたことを実証する必要があります。

この力量に関連する典型的な CPD プログラムは次のとおりです;



### **IRCA/470 プリーフィングノート:**

#### **コーポレートマネジメントシステム審査員(CMSA)登録に関する CPD プログラム**

1. ビジネスアドミニストレーションのような、ビジネス関連の研究における中等後教育、あるいは、学位又はディプロマレベル資格でのマネジメントの研究。そのようなプログラムは、ビジネスを理解するための基礎(特定のビジネス問題を評価するにあたり、前提となるもの)を創るでしょう。
2. 戦略的ビジネスプラン、予算管理、マーケティング並びにビジネスディベロップメント、安全衛生マネジメント並びにビジネスリスクマネジメントのような、特定のマネジメントレベルのサブジェクトにおけるトレーニングコース。
3. ビジネスエクセレンス、品質管理戦略、法令・規制ディベロップメント、アウトソース戦略などのようなサブジェクトについてのカンファレンス及びセミナーのプレゼンテーション。
4. CQI(品質及び品質関連)、IEMA(環境及び環境関連)、CIPD(要員開発)のような専門機関、及び、商工会議所、生産研究所、Business Confederations などのような一般的なビジネスアソシエーションが組織するミーティングへの参加。
5. 社内出版物やオンライン情報マガジンも含め、業界団体、専門機関のようなビジネスセクターの出版物の自学自習。
6. ビジネス問題に関連するオンラインフォーラム、SIG への登録及び参加。
7. コンサル提供の一部として実施されたりサーチを含む、同僚や他機関に対するビジネスピックのプレゼンテーションのためのリサーチプロジェクト。

この力量の CPD に関連する証拠には、トレーニング修了書、資格認定証、参加記録、出版物購読リスト、アクセスしたウェブアドレスのリスト、使用したテキストのタイトル、ミーティングの議事録、賞状があります。複雑な審査のようなプロジェクト・課題の実施において新しい力量をうまく適用したということによって CPD の有効性を実証することができます。

### **3.0 力量 - 審査の計画**

コーポレートマネジメントは通常、効果的なプランニングが非常に重要であると考えます。日常ベースでトップマネジメントが関与することの多くは、自身が責任を有するビジネスのセクションの将来計画に関連します。審査を計画する能力は基本的な審査員の力量ですが、CMSA レベルに対する特別な要求事項は、ビジネスの目標の達成、顧客及び利害関係者の期待の満足、法令・規制要求事項の遵守に対する最も著しいリスクを考慮にいれた審査の計画です。この力量は、複数のマネジメントシステム規格、複数のサイトが関連し、技術的専門知識が必要で、数日にわたって若干名の審査員が関与するような審査状況のなかで実証されなければなりません。

この力量に関連する典型的な CPD プログラムは次のとおりです:



## **IRCA/470 プリーフィングノート:**

### **コーポレートマネジメントシステム審査員(CMSA)登録に関する CPD プログラム**

1. 戦略的ビジネスプランニング、ロジスティクス・マネジメント、プロジェクトマネジメント、時間管理、緊急事態の計画及び準備、リスクマネジメントなどのサブジェクトにおけるトレーニング。
2. Just In Time Methods、Lean Manufacturing、シックスシグマ技法、FMEA 技法などのようなサブジェクトについてのカンファレンス・セミナーのプレゼンテーション。
3. IT ディヴェロップメントプロジェクト、品質計画、建設マネジメントプロジェクトなどのような、プランニングに重点を置いたコンサル、トレーニングプロジェクトへの関与。
4. 社内出版物やオンライン情報マガジンも含め、業界団体、専門機関の出版物のような、プロジェクトマネジメントについてのビジネス出版物の自学自習。

この力量の CPD に関連する証拠には、トレーニング修了書、資格認定証、参加記録、プロジェクトの記録、出版物購読リスト、アクセスしたウェブアドレスのリスト、参照したテキストのタイトルがあります。CMSA レベルへの申請には、計画書の論理的根拠を添えた、複雑な審査計画書の提出が要求されます。そのような計画書は、この力量に関連する CPD の証拠の一部となるでしょう。CMSA 登録の更新には、CPD プランの策定及び実施が要求されます。望まれる成果につながる複雑な審査を含んだ、プロジェクト・課題を首尾よく完成させることによって CPD プランの有効性を実証することができます。

#### **4.0 力量 - 審査チームをリードし、組織し、指揮する**

本質的にコーポレートマネジメントは、組織内でリーダー的な役割を果たすものです。トップマネジメントのほとんどのメンバーは、経営幹部の視点から自身の属するチームをリードし、組織し、指揮する直接の経験を有するでしょう。チームの率先・組織・指揮は、主任審査員の通常の主な機能ですが、チームのリーダーシップの力量に対する通常より困難な審査をリードするときにこれらの力量を実証しなければなりません。CMSA 審査員と共に業務を遂行するコーポレートマネージャは、この領域における自身の能力におおよそ等しいレベルのリーダーシップ及び組織能力を審査員が実証することを期待するでしょう。

この力量に関連する典型的な CPD プログラムは次のとおりです；

1. チームリーダーシップ、人々の管理、意思決定、コンフリクト管理、ファシリテーション、コーチング技能などのようなサブジェクトにおけるトレーニングコース。
2. ビジネスリーダー、及び、顕著なリーダーシップをはっきりと実証している他の分野のリーダーによるカンファレンス及びセミナープレゼンテーション。
3. 居住地区のアウトドアトレーニングスクール、心理試験スキーム、ビジネスリーダープログラムなどのような、自己啓発サイクルへの参加。
4. リーダーシップ、チームワーキング、チームディヴェロップメントについての出版物・テキストの自学自習。



## **IRCA/470 プリーフィングノート:**

### **コーポレートマネジメントシステム審査員(CMSA)登録に関する CPD プログラム**

この力量の CPD に関連する証拠には、トレーニング修了書、資格認定証、参加記録、自己啓発記録、参照した出版物購読リスト・テキストのタイトルがあります。チームリーダー、主任審査員、部門長などのような役割を伴うキャリアの発展によって CPD の有効性を実証することができます。

## **5.0 力量 - 審査プロセスの管理**

先述の力量で概説されているリーダーシップの技能に加え、CMSA 審査員は、複雑な審査の状況における管理能力を実証する必要があります。この力量は、審査の目標を完全に満たした成果を出すための審査プロセスにおいて、利害関係者全員と調和して業務を実施することに関連します。この力量の実証には、複雑な審査のための審査計画書に沿ったチームの活動の調整・監視、審査上の問題の解決、すべての必要な変更を発効させるためのタイムリーな意思決定、コーポレートマネジメントへの進捗状況の報告、チーム内での情報の共有があります。

この力量に関連する典型的な CPD プログラムは次のとおりです；

1. 人員の管理、意思決定、コンフリクト管理、チームファシリテーション、ストレスマネジメント、問題解決、変更管理、人的資源の管理などのようなサブジェクトにおけるトレーニングコース。
2. 創造的思考、インフォメーション技能、効率計画、雇用法などのようなマネジメントの問題についての、マネジメントアソシエーション及びマネジメントコンサルグループによるカンファレンス及びセミナーのプレゼンテーション。
3. マネジメントトレーニングプログラム、交渉スキル、コーチングスキルなどのような自己啓発サイクルへの参加。
4. 経営戦略及びコミュニケーションスキルについての出版物・テキストの自学自習。

この力量の CPD に関連する証拠には、トレーニング修了書、資格認定証、参加記録、自己啓発記録、参照した出版物購読リスト・テキストのタイトルがあります。部門のチームリーダー、主任審査員、管理職への昇格のような役割を伴うキャリアの発展によって CPD の有効性を実証することができます。

## **6.0 力量- 審査証拠の収集**

証拠の収集は、すべてのレベルの審査員にとって基本的な力量です。適合性評価のための基本として事実に基づく情報を収集することは、標準的な審査のプラクティスです。CMSA 審査員にとってこの力量は、複雑なプロセスの関連要素のリスクベースのサンプリングに基づき、あらゆる適切な技法を用いた、事実に基づく鍵となるデータを一貫して特定し収集する能力を実証することを要求します。これは、詳細部分に細かく注意を払い、明確で論理的な審査経路に従い、自分で作成したプロセスのチェックリストのような審査ツールを効果的に使用し、組織のあらゆる階層の人々とともに気持ちよく作業することを伴うでしょう。またこの力量には、発見した証拠について効果的なデータ分析をし、起りそうな結果を決定する上で道理にかなった判断



## **IRCA/470 プリーフィングノート:**

### **コーポレートマネジメントシステム審査員(CMSA)登録に関する CPD プログラム**

を適用することが要求されるでしょう。コーポレートレベルでの審査員のフォーカスは広義の審査目標、及び、継続的改善のプロセスを含むシステムワイドなパースペクティブを含むでしょう。

この力量に関連する典型的な CPD プログラムは次のとおりです；

1. 上級審査技法、断定、コミュニケーション技能、インタビューの技法、プレゼンテーションの技能、クリティカルパッチ分析、根本原因分析などのようなサブジェクトにおけるトレーニングコース。
2. ライフスキルピック、イノベーション及びクリエイティビティ、メディア技能などについてのカンファレンス及びセミナーのプレゼンテーション。
3. システムギャップ分析、アクシデント調査、欠陥発見法などのような、プロセスのリサーチを伴うコンサルプロジェクト又は研究への参加。
4. リスニングスキル、話術、自己啓発プログラム、メモリーフィットネスプログラムなどについての出版物及びテキストの自学自習。

この力量の CPD に関連する証拠には、トレーニング修了書、資格認定証、参加記録、自己啓発記録、参照した出版物購読リスト・テキストのタイトルがあります。情報調査、パフォーマンス評価、契約のレビューなどのような、プロジェクト及び課題をうまくこなしたことによって CPD の有効性を実証することができます。審査/所見の結果は、ビジネス及び/又は利害関係者の潜在的あるいは実際の影響に関連します。

## **7.0 力量 - 所見の評価及び適切な結論を導き出す**

どんなに厳密に証拠を収集したとしても、審査員が審査目標に関連してそのような証拠の重大性を正確に認識できなければ、審査のプロセスの質は低下してしまいます。CMSA 審査員にとってこの力量は、審査所見の信頼性に影響する要因を高いレベルで認識し、実際のあるいは潜在的な、所見がシステムに及ぼす影響を計算し、システムの有効性について見解の広い結論を導き出し、審査プロセスを通じて付加価値を与える機会を認識することによって実証されるでしょう。一般的にコーポレートレベルでこの力量を強調することで、審査の利害関係者全員にとって有意義な審査の成果を生み出すことになるでしょう。

この力量に関連する典型的な CPD プログラムは次のとおりです；

1. 上級審査技法、クリティカルパッチ分析、根本原因分析、FMEA 技法、リスクマネジメントなどのようなサブジェクトにおけるトレーニングコース。
2. 戦略的技法、データ分析技法、水平思考、業務計画などについてのカンファレンス及びセミナーのプレゼンテーション。
3. 状況原因を特定し、処置などを提案するための調査又は審理を伴うマネジメントあるいは業務研究への参加。



## **IRCA/470 プリーフィングノート:**

### **コーポレートマネジメントシステム審査員(CMSA)登録に関する CPD プログラム**

4. 企業統治などを含む上述のサブジェクトについての出版物及びテキストの自学自習。

この力量の CPD に関連する証拠には、トレーニング修了書、資格認定証、参加記録、自己啓発記録、参照した出版物購読リスト・テキストのタイトルがあります。複雑な審査を含むプロジェクトや課題、調査や戦略レビューをうまくこなしたことによって CPD の有効性を実証することができます(例:ビジネスプランニング及び目標の策定)。

## **8.0 力量 - コミュニケーション**

効果的にコミュニケーションする能力は、よい審査プラクティスの前提条件です。これは審査チーム内外での口頭・文面双方のコミュニケーション技能に関連するものです。コーポレートの状況で審査を実施する場合、CMSA 審査員は、非常に効果的かつ、関連する審査の環境に適切な言語技能を使用して実施される双方向のコミュニケーション技能を実証する必要があります。すべてのコミュニケーションは、関係者間のよい理解を生むような断固とした建設的な態度で行われ、組織にとってポジティブな成果につながるものであるべきです。書面によるコミュニケーションは客観的、体系的、簡潔、包括的でバランスが取れているべきです。

この力量に関連する典型的な CPD プログラムは次のとおりです;

1. プレゼンテーション技能、コミュニケーション技能、報告書作成、交渉技能、積極的なリスニング、演説、メディアスキル、エッセイの著作などのようなサブジェクトにおけるトレーニングコース。
2. 説得技法(例:販売トレーニング、効果的なリスニング、インタビューの技能など)についてのカンファレンス及びセミナーのプレゼンテーション。
3. プレゼンテーション、ディベート、トレーニングコースの実施などのような、メディアイベントへの参加。
4. 演説、プレゼンテーション技能についての出版物及びテキストの自学自習、オンライン自己啓発コースなど。

この力量の CPD に関連する証拠には、トレーニング修了書、資格認定証、参加記録、自己啓発記録、参照した出版物購読リスト・テキストのタイトルがあります。コミュニケーションの機能をうまくこなしたり、記事や著書を出版したり、複雑なチーム審査に参加することで CPD の有効性を実証することができます。

## **9.0 力量 - 適応及び対応**

審査員は全員多少オーバーであっても、毅然とした態度と協力的な態度のバランスをうまくとらなければなりません。バランスポイントは、審査の環境や、関連するマネジメントのスタイルによって異なります。CMSA 審査員は、変化する審査の状況において適切なフレキシビリティを実証し、新しい考えや技法に対してオープンで、客観的な手段を用いて曖昧な点を解決することができ、プレッシャーがあっても生産的に活動し、特に逆境においても自制心を維持しなければなりません。コーポレート審査の環境では、特に審査の成果が



## **IRCA/470 プリーフィングノート:**

### **コーポレートマネジメントシステム審査員(CMSA)登録に関する CPD プログラム**

組織にとって重要な意味をもつ状況において、CMSA 審査員にかかるストレスが通常より重いことがあるでしょう。この力量を満たす上で、審査員は、審査チームのメンバーのみならずコーポレートマネジメントの尊敬を集めるプロフェッショナルなマナーで審査の目標を伝えることができなければなりません。

この力量に関連する典型的な CPD プログラムは次のとおりです；

1. ストレス管理、感情的知性、扱いづらい人間の管理、時間管理、優先順位付けの技能などのようなサブジェクトにおけるトレーニングコース。
2. リラックステクニック、ポジティブな精神的態度のディヴェロップ、モチベーションテクニックなどについてのカンファレンス及びセミナーのプレゼンテーション。
3. 自己啓発のワークショップ、心理試験、パーソナリティプロファイリング、アンガーマネジメントプログラムなどへの参加。
4. メンタルフィットネス、交渉の技法などについての出版物及びテキストの自学自習。

この力量の CPD に関連する証拠には、トレーニング修了書、資格認定証、参加記録、自己啓発記録、参照した出版物購読リスト・テキストのタイトルがあります。困難な状況でプロジェクトの納期を守り、目標を達成することで CPD の有効性を実証することができます。

## **結論**

上述の CPD 活動は、CMSA レベルに要求される力量の向上に寄与するでしょうが、それらの力量を達成するための唯一の方法ではありません。力量は「実証された能力」と定義されるので、力量を実証するには、候補者の背景にある教育、トレーニング、技能及び経験を実際の場に適用することが必要となります。CMSA レベルに必要な力量はトレーニングからだけでは得られないでしょうが、実際の適用に基づいた継続的発展のプロセスを通じて時間をかけて修得できるでしょう。IRCA アセスメントセンターは、それぞれの力量の達成度を評価することによって、CMSA レベルの授与に値することを候補者が実証する機会を与えます。

初回申請に対する候補者の準備態勢を考慮する際、候補者は、準備についてのガイダンスを提供することになるであろう、専門家による評価あるいはその他の客観的な評価プロセスを通じた、関連する力量の独立した検証を望むかもしれません。アセスメントセンター受験の前後に候補者が不合格であった場合、IRCA は、更に CPD が必要な領域を明確にした包括的な個人レポートを提供します。